

政治学科基礎講義 1（コーディネーター：玉手慎太郎）

この授業では、授業の各回に記述式（解答字数 150-230 字）の小テストを出題した。各回の担当者が異なるオムニバス形式の授業であり、小テストは各回の教員が作成した。また課題提出後にそれぞれの小テストの模範解答および解説を公開した。

小テストは全部で 14 回実施し、各回の配点を 8 点とした。全ての小テストの合計点（112 点満点）を 100 点満点の評価点に調整し、最終評価とした。

すべての出題と解説を記載することは煩瑣であるため、以下に例として一問のみ掲載する

【第 13 回講義（担当：玉手）】

問：日本政治における野党共闘について質問します。（１）野党共闘の具体的な戦略の内容、および（２）2017 年 10 月の第 48 回衆議院選挙において野党共闘が破綻した理由、これらについてそれぞれ説明してください。両方の問いに対する解答をまとめて 150-230 字以内に収めてください。

模範解答：野党共闘とは、一人区において複数の野党が協力して、候補者を一人に絞る戦略を指す。一つの議席を争う地区の選挙においては、野党間で得票を分割することは与党に利することになるため、これを防ぐことが政治戦略として有効となる。しかし第 48 回衆議院選挙では、希望の党を中心とする保守野党と、立憲民主党を中心とするリベラル野党の間で政策方針の合意に至ることができず、候補者を一人に絞ることができなかった。それゆえこの選挙では野党共闘は破綻した。（215 文字）

解説：

日本の政治は二大政党制ではないため、政権与党に対して複数の野党が対抗する構図となり、それゆえ野党共闘という戦略が重要性を持つことになります。しかしながら、個々の野党それぞれに独自の政治的立場がある（だからこそ別々の政党を形成している）以上、一言で「共闘」と言ってすませることのできる簡単な論点ではありません。正確な理解を有していることが期待されます。

まず（１）については、単に野党が協力するというだけでなく、政治制度と結びつけて、具体的にいかなる協調行動を取るものなのかが説明できていれば加点します。つづいて（２）については、この選挙において野党が政策方針において分裂したということが説明できていれば加点します（希望の党や立憲民主党といった名称は必ずしも必要ありません）。